

地域計画

策定年月日	令和6年7月9日
更新年月日	— ()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	淡路市 (28226)
地域名 (地域内農業集落名)	大坪 ()

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	22.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	22.9 ha
② 田の面積	18.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	4.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

ほ場整備後の農地全てを担い手Aに集積・集約し、1集落1農場方式での農業経営を実践している。どのようにして生産の効率化・高度化を図るかが喫緊の課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

本地域は、ほ場整備事業を実施し、集落営農組織を結成。水稻の裏作でたまねぎやブロッコリーを栽培しながら、いちごやびわ等の果樹の栽培を行い、観光農園の運営も行っている。今後も、引き続き効率的な営農に向けて地域全体で取り組んでいく。

水稻については、担い手への農地の集積や作業受委託を進めるとともに、ドローン防除をはじめとしたスマート化による省力化、低コスト化をより一層推進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
平成27年度から実施している基盤整備事業で面整備を行い、平成29年度に設立した集落営農組織が営農を行うことで、効率的かつ収益性の高い農業を実現している。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	83	%	将来の目標とする集積率 83%
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現状、担い手Aに大部分の農地の集積ができており、集団化できている状況であるため、現状を維持できるよう努める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
ほ場整備事業を行う全ての農地を担い手Aへ集約し、作付け、管理を行う。団地数については、換地処分を行う中で所有者ごとに集団化を図り、団地数の削減と面積の拡大を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
ほ場整備事業を行う全ての農地に対して、農地中間管理機構を活用し、担い手Aに貸し付ける。
(3)基盤整備事業への取組
平成27年度より基盤整備事業(事業名:農業競争力強化基盤整備事業)に取り組んでいる。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
平成29年度に集落の農業者が構成員となり設立した集落営農組織があり、現在集落の農地の作付け、販売を担っている。
(5)農業協同組合等の農業サービス事業体等への農作業委託の取組
担い手Aに農地を集積した上で営農を行うため、活用の予定はない。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

下記の取組を行っており、今後も継続していく。

①国県市の補助を受けて、電柵、メッシュ柵を設置し、維持管理している。③イチゴのハウス栽培に際して温度、湿度管理を自動化している。⑤農業改良普及センターや栽培農家からの指導を受けながらブドウ、イチジク、みかん、ブルーベリー等を栽培している。⑦中山間直接支払い制度、多面的機能支払い交付金等の補助を受けながら、保全、管理に努めている。⑧産地パワーアップ事業、中山間地域所得向上支援事業等を活用し、トラクターなどの農業用機械、ミニライスセンター、育苗施設を備え付けている。⑨担い手である集落営農組織と畜産農家が連携し、飼料供給している。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
集 認就	担い手A	水稻・野菜・果樹	19 ha	ha	水稻・野菜・果樹	19 ha	ha	○印以外	
	担い手B	肉用牛	0 ha	ha	肉用牛	0 ha	ha	○印	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	2経営体		19 ha	0 ha		19 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)
農業を担う者の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、公表する場合やその他施策のために利用する場合等は、本人の同意を得る等個人情報の取扱いに留意してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。